

授業科目の区分	統合分野《在宅看護論》
授業科目	在宅看護援助論（在宅看護技術、家族看護）
開講年次・学期	2年次・前期
単位（時間）	2（45）
担当講師	①《所属：倉敷中央訪問看護ステーション 兼 ヘルパーステーション 所長》 ②《教務部長》看護師としての実務経験あり
科目のねらい	在宅で提供する看護を理解し、基礎的技術を身につけ、多職種と協働する中で看護の役割を理解する。また、家族の役割、機能について学習し、家族看護について理解する。
授業計画	<p>1. 暮らしを支える看護技術</p> <p>1) 暮らしの場で看護をするための心構え      2) セルフケアを支える対話・コミュニケーション</p> <p>3) 地域・在宅看護における家族を支える看護      4) 地域・在宅看護における安全をまもる看護</p> <p>5) 地域における暮らしを支える看護実践</p> <p>2. 地域・在宅における時期別の看護</p> <p>1) 健康な時期の看護      2) 外来受診期における看護</p> <p>3) 入院時の看護      4) 在宅療養準備期（退院前）の看護</p> <p>5) 在宅療養移行期の看護      6) 在宅療養安定期の看護</p> <p>7) 急性増悪期の看護      8) 終末期の看護（グリーフケアを含む）</p> <p>9) 在宅療養終了期の看護</p> <p>3. 地域・在宅の事例展開</p> <p>1) 事例を学ぶにあたって      2) 医療的ケア児の事例展開</p> <p>3) 脳卒中の療養者の事例展開      4) 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の療養者の事例展開</p> <p>5) 筋委縮性側索硬化症（ALS）の療養者の事例展開</p> <p>6) パーキンソン病の療養者の事例展開      7) 統合失調症の療養者の事例展開</p> <p>8) 認知症高齢者の事例展開      9) がん終末期の療養者の事例展開</p> <p>* 3) 4) 5) 9) については在宅実践演習で看護過程の展開を行い発表      8時間</p> <p>4. 地域共生社会における多職種連携・多職種チームでの協働</p> <p>1) 地域・在宅看護における多職種連携・多職種チームでの協働</p> <p>2) 医療・福祉・介護関係者との連携・協働      3) 医療・福祉・介護関係者以外との連携・協働</p> <p>4) 地域共生社会を実現するために</p> <p>5. 地域・在宅看護マネジメント</p> <p>1) 地域・在宅看護マネジメントとは</p> <p>2) 多様な場における地域・在宅看護マネジメント</p> <p>6. 在宅看護論実習オリエンテーション</p> <p>7. 演習 事例をもとにグループ演習</p> <p>&lt;技術演習項目&gt;</p> <p>・全身清拭・寝衣交換・陰部洗浄・シャワー浴・洗髪・移動技術・気管内吸引・胃瘻</p> <p>・在宅酸素療法・在宅中心静脈栄養法(ポート)・在宅人工呼吸療法</p> <p>8. 家族看護</p> <p>1) 家族の概念、家族の機能、家族の発達段階と課題</p> <p>2) 家族看護の諸理論：家族発達理論、家族システム理論</p> <p>3) 家族のアセスメント</p>
必携文献	1) 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践，医学書院，2022. 2) 押川真喜子：写真でわかる訪問看護 アドバンス，インターメディカ，2016. 3) 岡堂哲雄：系統看護学講座 基礎分野 家族看護学，医学書院，2018.
参考文献	2) 河原加代子他：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基礎，医学書院，2022.
成績評価方法	①試験 80点②演習 20点を合計し、60点以上を合格とする。

授業科目の区分	統合分野《在宅看護論》			
授業科目	在宅看護実践演習（在宅療養者の看護展開）			
開講年次・学期	2年次・後期			
単位（時間）	1（15）			
担当講師	《教務部長》看護師としての実務経験あり			
科目のねらい	在宅看護について、その特質、問題解決にあたっての対象者・家族中心のあり方と具体的な対応方法、在宅ケア支援のための保健・医療・福祉ネットワークの活用などの事例を通して理解する。			
授業計画	回	内容と方法	事前学習	事後学習
	1 (2 h)	<p><b>講義</b></p> <p>1. 在宅看護過程とは</p> <p>1) 看護過程の特徴・構成要素</p> <p>2) 看護過程の全体像・情報収集</p> <p>3) 療養者への健康問題と家族に及ぼす影響</p> <p><b>講義・演習</b>紙上事例療養者におけるアセスメント 情報整理と対象把握</p> <p>*脳卒中の療養者、難病の療養者、終末期にある療養者 在宅酸素療法の療養者のグループに分かれて事例展開をする。</p>	在宅看護援助論で事例を決定し各自学習をしておく。	グループワークで共有した、事例の修正・次回に向けての関連図
	2 (2 h)	<p><b>演習</b>訪問演習</p> <p>初回訪問の対応とマナーについて訪問の実際を理解する。</p>	課題事例のアセスメント	
	3 (2 h)	<p><b>演習</b> 紙上事例療養者におけるアセスメント 関連図を共有し療養者の全体像を理解する。</p>	担当事例の関連図	グループワークで共有した関連図の修正
	4 (2 h)	<p><b>講義</b>家族システム論とストレス対処理論 家族アセスメント 家族の対応能力・適応能力・発達課題</p> <p><b>演習</b> 紙上事例療養者におけるアセスメント 家族アセスメント</p>		担当事例について家族アセスメントを行う・関連図に家族の視点を追加
	5 (2 h)	<p><b>演習</b> 紙上事例療養者におけるアセスメント 家族アセスメントの共有・プレゼンテーション準備</p>	家族アセスメント	グループワークで共有した学びの修正
	6 (3 h)	<p><b>演習</b></p> <p>関連図プレゼンテーションと全体討議</p> <p>4事例を各グループで発表しカンファレンスを行う。 発表事例の決定</p>	発表準備	全体カンファレンスを行っての修正・看護問題のアセスメント・看護計画の立案
7 (2 h)	<p><b>演習</b>紙上事例療養者におけるアセスメント 看護問題のアセスメント・看護計画の共有 発表に向けての準備</p> <p>*在宅看護実践演習で行った4事例の看護展開について在宅看護援助論で発表し共有する。柴田先生が入られる。</p>	看護問題のアセスメント・看護計画	グループワークで共有した学びの修正	
必携文献	1) 河原加代子他：系統看護学講座 地域・在宅看護の基盤，医学書院，2022。 2) 河原加代子他：系統看護学講座 地域・在宅看護の実践，医学書院，2022。			
参考文献	1) 押川真喜子：写真でわかる訪問看護 アドバンス，インターメディカ，2016。 2) 岡堂哲雄：系統看護学講座 基礎分野 家族看護論，医学書院，2018。			
成績評価方法	出席状況、課題レポート、グループ演習課題により評価し、6割以上を合格とする。			
備考				